



## 初めての皇居参観ツアー

山田 淳子

風薫る5月20日、初めての皇居参観ツアーが実施されました。皇居の中で現在一般に公開されているのは、(1)皇居東御苑と(2)宮殿等含む皇居施設の一部、のみとなっています。このうち、江戸城天守閣跡や日本庭園が位置する(1)皇居東御苑は手続なしに誰でも訪れることができますので、ことに桜の季節など多くの市民、旅行者の憩いの場所となっています。今回訪れたのは、(2)宮殿等含む皇居施設の一部です。入場には宮内庁での所定の手続き

が必要なため、とりわけ外国の方にとってはなかなか敷居が高い場所です。もっとも、参観希望者の増加に鑑み昨年6月より手続きの簡素化、定員の拡大等進められていますので、今後はよりアクセスしやすい名所となっていくことでしょう。

今回の協会からの参加者は、大使館から30名、協会から通訳要員として日本人5名、総勢35名でした。ツアーは他の参加者と共に宮内庁職員のガイドのもとに実施されます。土曜日午後に行われたツアー全体の参加者は、200有余名とのことでした。

はじめに宮内庁から一通りの説明が行われた後、ぞろぞろとツアーに出発です。宮内庁ガイドは1人だけ、しかも日本語オンリーなので、私たち一行は列の一番最後にかたまり独自にロシア語での説明をしながらついていきました。

主だった見所としては、①富士見櫓、②宮内庁庁舎、③皇居長和殿、④正門鉄橋があります。①富士見櫓は、明暦の大火後1659年に再建された数少ない江戸城本丸の遺構です。東



御苑からかろうじてその一部を垣間見ることが出来るものの、美しい全容を眺めることは皇居参観ツアーに参加しなければなりません。

③皇居長和殿は、一般参賀の際に天皇ご一家がバルコニーからご挨拶をされる場所です。直線的でシンプルな建物は、ロシア人が抱く豪華な「宮殿」のイメージからはかけ離れたものがあつたようでした。④正門鉄橋は東京の名所である二重橋の正式名称で、皇居参観ツアーでは実際に渡ってみることができます。ロシア人参加者の中にもお堀の向こうからこの橋を眺めたことのある方が多く、この日は高い橋の上から見下ろす機会を得てちょっとした優越感を味わってもらえたのではないのでしょうか。

ツアーの所要時間は1時間半ほどでした。この日は真夏を思わせる陽気で参加者の皆さんもお疲れになったかと思いますが、拙い説明に耳を傾けてくださり感謝しております。日本の歴史、文化を少しでもお伝えする機会をこれからも皆さんと一緒に作っていただけると願っております。

山田さんは、下見もして参観ツアーガイドのロシア語訳をしてくれました。それを当日、参加者の皆さんにお配りすることができ、その上で大使館の方々の沢山の質問に答えてもらいました。有難うございます。(担当者)

山田さんは、下見もして参観ツアーガイドのロシア語訳をしてくれました。それを当日、参加者の皆さんにお配りすることができ、その上で大使館の方々の沢山の質問に答えてもらいました。有難うございます。(担当者)